

指定管理者更新に係る検証シート

1 施設及び指定管理者の概要

施設名	愛媛県在宅介護研修センター	施設所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課
設置年月日	平成16年4月1日	耐用年数	50年
現指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	現指定期間	平成31年4月～令和6年3月(5年間)
これまでの指定の状況	第1期:平成16年4月～平成21年3月(5年間)、第2期:平成21年4月～平成26年3月(5年間)、第3期:平成26年4月～平成31年3月(5年間)		

2 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

	(制度導入前年度)	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	— 人	14,948 人	11,780 人	4,319 人	7,321 人	7,603 人 (4,494 人)
対制度導入前年度比			— %	— %	— %	— %
対現指定期間前年度比			78.8 %	28.9 %	49.0 %	50.9 %

(※) 令和4年度については、上段に年間見込数を、下段()内には令和4年10月末までの実績数を記載。

(※) 平成16年度の施設新設時に指定管理者制度を導入したため、制度導入前年度との比較は不可。

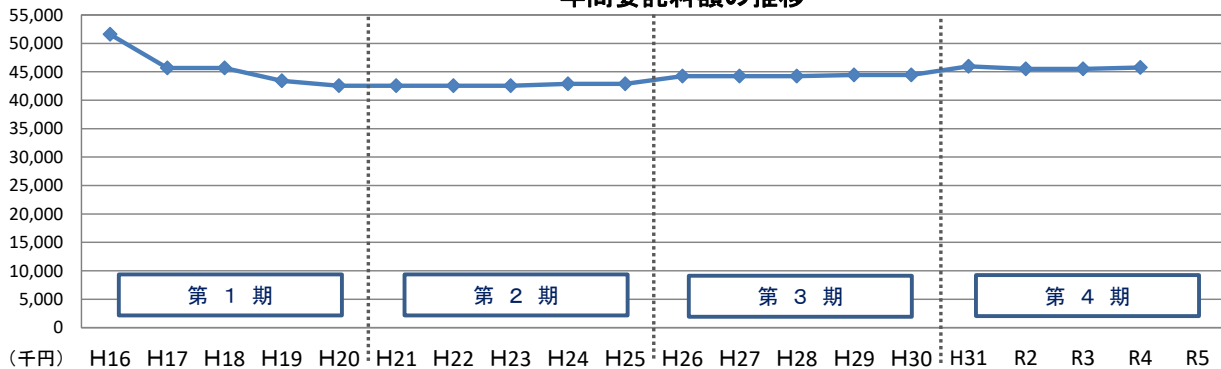
(2) 収支状況

	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度※1
収入 (A)	44,449 千円	45,965 千円	45,511 千円	45,511 千円	45,764 千円
委託料	44,449 千円	45,965 千円	45,511 千円	45,511 千円	45,764 千円
委託料(補正予算対応額)※2	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
利用料金収入	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
その他の収入	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
支出 (B)	44,449 千円	45,965 千円	45,511 千円	45,511 千円	45,764 千円
収(A) - 支(B)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

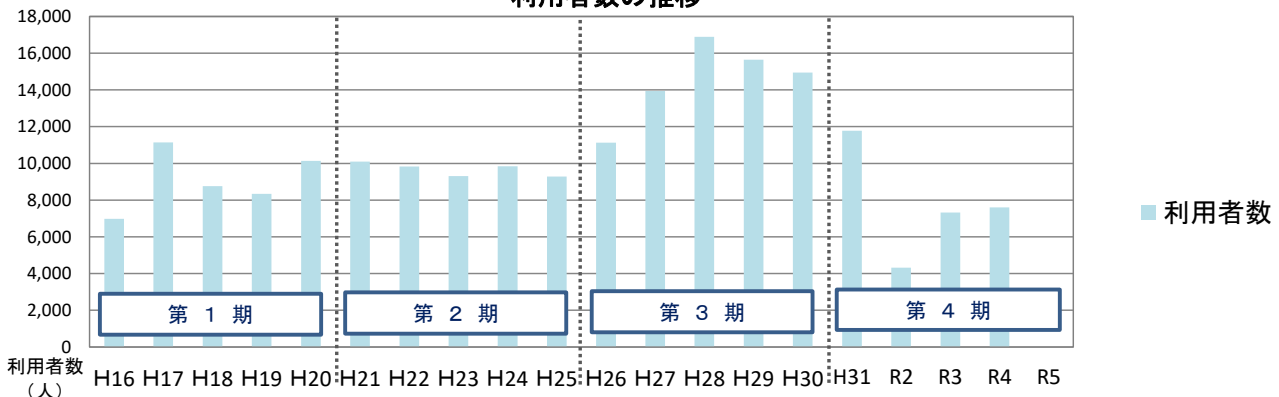
(※1) 令和4年度については見込み額を記載。

(※2) 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、補正予算で増額した委託料を記載

年間委託料額の推移



利用者数の推移



(3) 経費削減のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 職員による小修繕・補修の実施
- 電力デマンド監視装置の活用、照明器具のLED化、こまめな消灯等による節電
- コピー用紙の裏紙利用や保存用ファイル・封筒の再利用等による事務経費の削減

(4) サービス向上のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 地域と連携した出前講座の開催や新しい研修メニューの企画、関係機関と緊密な連携を図りながら受講促進及び広報の強化に努めている。
- 動画配信やZoomを活用した双方向型のオンライン研修
 - VR機器や介護ロボットを活用した体験型研修、男性を対象とした「介護版男性専科」
 - 「働く家族の介護力強化セミナー」による現役世代の介護の理解促進
 - ホームページを改修し、介護のポイントを解説するミニ動画を定期的に掲載
 - デジタル技術を活用したインターネット広告配信
- アンケートの活用等による利用者のニーズ把握とサービス向上に努めている。（希望の多いテーマでの研修企画、駐車場の整備等）

(5) コロナ禍における感染対策や利用者確保のための主な取組み

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る施設改修（研修室の換気設備の改修、トイレの手洗水栓自動化、通路の整備、サーマルカメラの導入、手指消毒自動噴霧器の設置など）
- 定員を半分（40人→20人）にしたことで生じる超過分に対応するための第2研修室等通信環境整備
- 研修時の飛沫防止パーテーションの設置、スリッパ殺菌ディスペンサーの設置、手指消毒・3密回避の徹底
- 動画配信やZoomを活用した双方向型のオンライン研修の導入
- 毎朝、全職員の体温を記録
- 体調不良等の場合に抗原検査を実施

3 次期更新に向けての評価等

(1) 現指定期間における指定管理者制度の導入効果の検証

利用拡大の観点から （利用者数、利用料金収入）	民間のノウハウを生かした多彩な研修の企画や地域と連携した出前講座の積極的な開催等により、研修参加者は1万人を超え順調に推移していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で従来通りの研修が実施できなくなり、令和2年度前半の研修参加者数は大幅に落ち込んだものの、令和2年11月から開始した動画配信によるオンライン研修により徐々に回復傾向が見られ、介護事業所の職員研修や福祉系学校の授業で活用されるなど新たな受講生の開拓に繋がった。 引き続き、感染防止対策を講じながら様々なニーズに対応した研修を実施することで受講促進に努めている。
効率化の観点から （経費削減）	指定管理者の努力により、経費削減を図りつつ、施設・設備等の適切なメンテナンスがなされている。
利便性・県民サービス向上の観点から	アンケート等で寄せられる要望に迅速に対応するよう努めており、利用者の満足度も高い。
その他の観点から （前指定期間と比較して特筆すべき成果、利用者等の安全性の確保、収入確保に向けた取組みの状況（広告事業等）、その他協定の履行状況など）	利用者の安全確保のため、経年劣化等による危険箇所から随時修繕を行い適切な管理を実施している。 基本協定・年別協定の確実な履行を継続している

(2) 次期更新に向けての方針及びその説明

少子高齢化が一層進展するなか、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者の尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で介護への理解を深め、助け合い支え合う社会づくりを進める必要がある。広く一般県民を対象として介護の研修を行う当施設の存在意義は益々高まっている。一般県民対象の介護の実践的研修施設は、他県には例を見ないものであり、先進的な取組として県外民生委員等が視察に訪れるなど、全国に誇れる施設として一層の発展を目指している。

当施設は、平成16年の開設以来、指定管理者により適切に施設の運営管理、民間のノウハウを生かした多彩な研修の企画や地域と連携した出前講座を積極的に開催していることから、引き続き指定管理者制度を採用し、県下各地での研修開催等により、本県の介護の質の向上及び家庭や地域の介護力強化を図っていききたい。